

SS 探究ⅡC

放射線セミナー

令和4年7月1日(金)、長崎大学原爆後障害医療研究所の松永 妃都美先生を講師としてお招きし、2年生家政科を対象とした放射線セミナーを開催しました。まず、最初に放射線に関する基本的な知識を得るために、講義をしていただきました。前回、本校の緒方教諭による放射線セミナー事前指導で、サイコロを用いた半減期のモデル実験などを行っていたので、生徒たちも講義の内容について、より具体的なイメージをもって聴くことができたようでした。次に、霧箱を用いて実験を行い、放射線を実際に観測しました。室内を暗くして、霧箱にライトをあてると、霧箱の中で、次々に飛行機雲のように発生する放射線の軌跡を見て、生徒たちも歓声を上げていました。その後、放射線量の測定器を1人1台持ち、校内の様々な場所の放射線量を測定しました。空気が流れがあまりない所が、放射線量が高いそうで、実際に測定を終えた生徒たちから結果を聞くと、そのような箇所の測定値が高い傾向にありました。最後に、福島原発事故やチェルノブイリ原発事故に関する話をさせていただきました。現在の科学では、種類によっても異なるが、野菜が土壌から取り入れる放射線量はかなり少ないということが分かっており、科学的な知見からきちんと判断すれば、風評被害も防げるのではないかとということも、1人ひとりが考えさせられる内容でした。松永先生には、昨年度からセミナーの内容をリニューアルしていただき、実験や測定を行うことで、とても充実したセミナーとなりました。



写真 左上：研修のようす
左下：放射線量測定器で石を測定

写真 右上：霧箱の実験のようす
右下：校舎内に測定に行く生徒